

## 522木材、竹材を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	11~12	畑と山で伐採作業中、切った杉の木（丸物3m程度のもの）が、安全に作業していた中であつたが、足の上に転がり落ち、左足の足底を骨折した。	70	4	60101	1~9
2	2017	12	10~11	重機に乗り、木を集材していたところ、ワイヤーを掛けていた伐倒木の上にあつた伐倒木が滑落し、重機のフロントガラスを破り突入してきた。その際、木が左上腕から左肩付近に当たり負傷した。	63	6	60201	1~9
3	2017	12	16~17	舗装工事中、養生用のプラスチックベニヤ板が風で道路に飛んだため、慌てて拾いに行き拾い上げたが、右足でその板を踏んだまま拾い上げてしまい、滑って転倒し、アスファルト路面に左膝を打ちつけた。	46	2	30201	10~ 29
4	2017	12	10~11	1号倉庫内で荷下ろし作業中、2人1組での作業で、相手方作業員が枕木を押したため、枕木と鉄板との間に右手親指が挟まり、右手親指の腱断裂および骨折をした。	55	7	40301	30~ 49
5	2017	12	7~8	積み込み現場で、4.8mの木材（重さ100kg程度）をリフトを使い積み込み中、荷物が濡れていたため、フォークリフトの爪から荷物が落下し、右足に当たり負傷した。	42	4	170209	1~9
6	2017	12	15~16	工場内にてトラック（4t）へ荷を積み込んでいる最中に、荷台の中を確認しようとしたところ高さが足りず、近くに置いてあつた大きさ6cm四方の盤木（フォークリフトの爪が入るよう荷物の下に置く木）に足をかけたとき、バランスを崩して	42	19	11209	10~ 29

				右足首を捻挫した。				
7	2017	12	7~8	当社本社敷地内、資材置場にて、年末の片付け作業を開始する為、作業段取り中、パネル（0.6×1.2、H1.2m）3山平積みの上に載っている不用金物袋（≒15kg程度）10袋を金物の箱に入れる為、パネルの上に乗って金物袋を手で箱に入れている時にバランスを崩した為、身の危険を感じ飛び降り、地面に着地した際、右足甲中指と薬指の根元を負傷した。	49	3	30209	30~ 49
8	2017	12	16~17	倉庫内で、材木（長さ3600mm、幅150mm）を定位置に保管するため、立てかけていたところ、振り向きざまに1枚（約7~8kg）の材木が倒れてきて、背中から頭部を直撃し、その勢いで体が前のめりになり、顔面を地面（コンクリート）に強打した。	68	2	10503	10~ 29
9	2017	12	15~16	丸太約350mmΦを、厚み120mm、幅300mmに切断後、20mmの板に切断するため、製作機にセットする際、上記寸法の木材盤の間に左手中指を挟み、裂傷及び骨折をした。	64	7	10401	1~9
10	2017	12	18~19	マイナス6m岸壁に接岸した艀内で、4m杉丸太の積付作業中に、丸太に雪が少し残っていて、その上で足をすべらせ3列目と4列目に段差が約1mあり、4列目に転落し、その際に丸太に右肩と右脇腹を強打した。	69	1	50201	10~ 29
11	2017	11	12~ 13	現場で測量作業中に、丸太倒木を踏み越えようとして丸太に足をかけたところ、足を滑らせてバランスを崩し転倒し、左脇腹を丸太で強打した。	51	2	30199	1~9
12	2017	11	16~ 17	木造住宅の外壁材の撤去作業中、撤去した木材の積み込みをしている時、下に置いた木材の上を歩き、右足で釘を踏んだ。翌日は通常の作業をしたが、翌々日朝に足が腫れ、痛みが出てきた。	56	9	30202	1~9
			15~	工場1階北側三次元測定室前にて、作業台作成中、木製のボードを2人で持ち上げる途中、足元にあった木パレットに引っ掛				50~

13	2017	11	16	かり、バランスを崩し、床に右膝から強打し皿が割れ負傷した。	44	2	11502	99
14	2017	11	15～ 16	竹林横斜面にて、イベント用竹を伐採し、運搬中落葉に足をとられ、竹と共に右手首から転倒し、骨折する。	30	2	170209	10～ 29
15	2017	11	11～ 12	会社の車庫で、トラックの荷台の上で道具の片付け中、りん木の上に誤って足が乗り、右足首を捻挫した。	41	19	40301	10～ 29
16	2017	11	14～ 15	工場内にて丸太の製材機で作業中、丸太を機械で挟む際に、誤って指も挟んでしまった。	76	7	10401	1～9
17	2017	11	14～ 15	待機場所で搬入待ちしている時に、トラックの荷台を片付けようと、後方の扉を開けて、扉付近のベニヤ板を前方に倒そうとしたところ、ストッパーのベルトが外れており、ベニヤ板（10枚）が自分の方に倒れて来たので頭を守るためベニヤ板を支えようとして、左手人差し指・中指を負傷した。	64	5	40301	10～ 29
18	2017	11	9～ 10	資材（木枠）を荷おろし作業中、資材が崩れその下になり右手人差し指中指骨折、左頬左肩左膝打撲負傷した。	59	4	40301	10～ 29
19	2017	11	15～ 16	傾斜15度林齢40年生スギ林において作業道開設のため支障木（胸高直径34cm、樹高20m）を伐倒した。作業道開設時に移動する際、元から4mの所で造材作業をしようとしたが伐倒木の元が浮いていたので仕方なく先に伐倒してあった木の上に乗る、顔の高さで造材作業をしているとチェーンソーが挟まれたので、次は挟まれないよう木を近くで作業していたバックホーで下から支えてもらい上から造材していたところ、急に造材木が落下し乗っていた木と木の間で左足を挟まれ被災した。	43	7	60201	1～9
20	2017	11	17～	第5製造所の合成樹脂設備の蒸発器缶出タンクの内容物が異常反応したため、タンク全体が固形物で満たされていた。固形物を取り除くために4名で缶出タンク側面にあるマンホールの	35	4	40301	100 ～

			18	開放作業を進めていたところ、マンホールから内容物が急激に噴出し、作業をしていた4名および周辺で作業していた1名が負傷した。					299
21	2017	11	15～ 16	個人宅新築工事現場にて、配管工事作業のためのトラックなどが出入りしやすいよう泥でぬかるんだ地面に鉄板（30kg、長さ1m×1m）を敷こうと一人で引きずりながら移動中、石に躓き鉄板を持ったまま尻もちをついてしまい、腰や臀部を強く打ちつけ負傷した。	27	7	30202	1～9	
22	2017	11	18～ 19	ホテル内1階で、防音対策として、重厚な木製の板を店内貼り付けする為、同僚と2人で運搬していて、腰椎椎間板ヘルニアで入院が望ましいとの診断となった。	45	19	150101	30～ 49	
23	2017	10	8～9	リングパーカーへの投入の作業に従事している被災者が、投入後、投入口手前に落ちた皮が気になり、レイキを使ってかきあつめていたところ、スラッシャー上の一本がころがり、ストッパーをこえて、片方が落下、ちょうど真下にいた被災者の頭部に当たり、負傷した。	70	4	10401	30～ 49	
24	2017	10	16～ 17	No13コースで、右法面の松の木の伐採作業で、伐採作業員が松を切り倒した後、残った切り株を再度低く切った時、法面の下で片付け作業をしていた被災者に気づかず、残った木（直径40cm、長さ40cm）が法面（傾斜角度25度）を転がり（約15m）被災者の左足甲に接触した。直ちに作業を中断し、病院へ搬送し診療を受けた。診断の結果、左第5中足骨骨折で手術が必要との事。	62	6	140301	10～ 29	
25	2017	10	9～ 10	製材工場の中で木材の整理をしていた時、木材につまずいて転んだ。	59	2	10401	1～9	
26	2017	10	15～ 16	現場の倉庫でトラックの荷台に有るコンパネ（木のボード）を1枚ずつ降ろす時に数枚が滑り落ちて来て左足の背部を打撲した。	41	5	40301	50～ 99	

27	2017	10	11~ 12	自社食品倉庫駐車場にて、駐車中の2t冷凍車内で荷物の整理整頓中、車内の敷板（厚さ約2cm）につま先が引っ掛かり、左側より腕を着くように転倒し、左肘を強打し、負傷した。	59	2	170209	1~9
28	2017	10	11~ 12	5階倉庫内にて、クリスマス陳列月セット（平板1枚、長い板2枚、短い板2枚）をカゴ車から取り出そうとして、一番上に積んであったものを運ぼうとしたところ、2段目の陳列台セットの長い板1枚が滑り落ち、左足甲、薬指上に落下した。傷みがあった。診断の結果左足薬指にひび骨折と判明。	47	4	80201	100 ~ 299
29	2017	10	12~ 13	営業所車庫にて積込準備中、重ねてあったコンパネを1枚取ろうとした際2枚目のコンパネも同時に動き落下し右足脛付近に当たり受傷した。	52	4	40301	10~ 29
30	2017	10	21~ 22	引越作業中、部屋にあるダイニングテーブルを搬出する為、解体し天板を持ち上げた際スライド式の天板だった為、伸びた天板を誤って右足の小指に落としてしまい内出血した。しばらく様子を見たが腫れがひどくなった。（天板の大きさ円形直径1m重さ10kg以上）	32	4	40301	10~ 29
31	2017	10	15~ 16	製造現場4号館1階包装室にて、パレット積みされた製品（4段積、高さ150cm）をストレッチフィルムで製品全体をラップする作業において、4段目途中でストレッチフィルム（重さ2.2kg）を巻き、段ボール上段に一度置き、床に置いてあったストレッチフィルム置き用の容器を取ろうとしゃがんだところ、段ボール上段に置いてあったストレッチフィルムが落下してきて左側頭部（耳の上辺り）を直撃した。衝撃により左側頭部から流血した。	53	4	10803	50~ 99
32	2017	10	13~ 14	太陽光発電設置工事現場において、丸太を切断中に、誤って右足甲に丸太を落としてしまい、負傷したもの。	32	4	30302	1~9
			14~	乗馬クラブ内の各種運搬作業中に高い箇所からの荷受け作業時に、足元にあった木材に乗って作業していたところ、木材				10~

33	2017	10	15	の一部に穴が開いており、その穴に足首がはまり込み、その部分を中心として転倒した結果、骨折となった。	36	2	170101	29
34	2017	9	13～ 14	当社作業場において焼き芋に使用する炭窯用の木材（直径30cm、長さ30cm）の整頓作業を行っている時に、誤って手を滑らせ、左足に落としてしまい裂創した。	52	4	60101	30～ 49
35	2017	9	13～ 14	林内作業車にて木材を運搬、土場にて木材を降ろす作業を行ったが、サイドポールが上手く外れず、木材が降ろせなかった、そこで、サイドポールに引っかかっていた比較的細い木材を動かした所、思いがけずサイドポールが外れ林内車に積んでいた木材が被災労働者に向かってくずれ落ちて来た、被災労働者はあらかじめ、はい積してあった木材を背にして作業をしていたため、木材に前後から足を挟まれるかたちとなった。	49	7	60201	1～9
36	2017	9	9～ 10	新築工事で材料搬入作業中に、搬入済間柱を整理していたところ、積み上げた間柱が崩れ落ち、右膝を負傷した。	29	5	30202	1～9
37	2017	9	16～ 17	作業場で抜型の材料であるベニヤ板を棚から取り出す際に、誤って肩に負担が掛かり、右肩を傷めたものである。	22	19	11301	10～ 29
38	2017	9	9～ 10	山林で、伐木造材作業中、重なって伐倒してあった木の上側の木を造材した時に、玉切った木が自分の方へ落ち、左足に当たり負傷した。	47	4	60209	10～ 29
39	2017	9	14～ 15	玉切り作業中、丸太が右足付近にあたり負傷した。	64	6	60201	100 ～ 299
40	2017	9	11～ 12	倒した外壁と残っている腰壁の鉄筋を切断している時に、壁が反動で下がり腰壁に乗せていた左足の安全靴の上に当たり負傷した。	45	4	30201	1～9
				住宅建築現場において、被災労働者がバルコニー土間枠固定				

41	2017	9	16～ 17	の貫を引き抜こうとしたところ、貫が折れてそのまま700mm 高低差のある右後方に倒れ込み、地面に右手をつき負傷し た。	39	2	30201	1～9
42	2017	9	10～ 11	ドリルを使用し小さなステンレス板にネジ穴を開ける作業中 に、板を左足で押さえ右腕でドリルを持ちスイッチをONにし て穴を開けた後に、スイッチがON固定になっている事に気付 かず押さえていた左足を離れた事で板が回転し右太ももにあ たり、切傷したものである。	34	6	10104	100 ～ 299
43	2017	9	12～ 13	配送先にて1梱包20kg程度のフロア材を2梱包肩にかついで高 さ1m位のフロア材の上に降ろそうとした際、左手中指をフロ ア材に挟んで負傷した。	42	7	40301	10～ 29
44	2017	8	11～ 12	山林で玉切りをして進んでいたところ、材木（直径30cm、長 さ4m）が転がり、左足を負傷した。材木が転がらないよう に処置をしなかったために負傷したものである。	66	6	60201	1～9
45	2017	8	11～ 12	市場構内で原木丸太の桎積作業中、1本が不揃いになったので 安全を確認した上で、1m弱の所に登って直していた。その とき、バランスを崩しそうになったので飛び降りたところ、 左足かかとを負傷した。	48	1	80209	10～ 29
46	2017	8	13～ 14	倉庫内において、単独で整理整頓をしていたとき、立て掛け て置かれたバタ角（建設工事のコンクリート打設の際に型枠 仮設補強などに使われる、約10cmの角材）が倒れて来て、首 を負傷した。	56	5	30199	30～ 49
47	2017	8	14～ 15	縫製作業中、作業場の床で、床のトゲが刺さり負傷した。そ の日は大丈夫だと思い病院には行かず、その後も就労した が、次第に腫れ上り、痛みも強くなってきた。	66	90	10409	1～9
48	2017	8	12～ 13	建築資材の木材を加工する工場にて、加工された木材を梱包 するため、木材同士を束ねようとしたとき、木材（高さ10.5 cm、幅10.5cm、長さ350cm）が、右足の安全靴に落下（高さ	39	4	170101	100 ～

				1m) し、右足の甲を負傷した。				299
49	2017	8	14～ 15	工場にて木材を運んで地面に置く際に、木材の下端に取付してある金物で左足親指の先を挟み負傷した。	21	7	10409	50～ 99
50	2017	8	10～ 11	事務所入口にて、商品を取りに行こうとした際、木製の板の上で転倒した。その板は、半分には滑り止めがあり、通常は事務所の出入り用に使っているが、そのときは滑り止めがない半分の方を、滑り易い靴で歩いて転倒し、背中の上部を打った。	53	2	80101	1～9
51	2017	8	8～9	当社木材加工場において、材料の整理整頓作業を行っていた。その際、床に置いてあった1m程の端材を移動させようと手で持上げたとき、腰に激痛があり、その場に座り込んでしまった。その後は人の手を借りないと歩けない状態になってしまった。	24	19	30106	50～ 99
52	2017	8	11～ 12	建設現場にて、建築資材（石膏ボード）を車両荷台より数枚ずつ現場へ担ぎ入れ、荷降ろし作業を行っているとき、背中に石膏ボードを背負い、後ろ手で支えて運んでいたところ、突然力が抜け、肩が落ちるような感覚で、右手の力が入らなくなった。	47	19	40301	300 ～ 499
53	2017	8	10～ 11	剪定枝を車両に入れる作業中に、車両から飛び出した剪定枝の束が左手第4指に当たり、その勢いで投入口の鉄製の部分に挟み、負傷した。	35	7	150102	100 ～ 299
54	2017	8	10～ 11	当社置き場において、まくら木の片付け作業中、積み重なっていたまくら木が崩れ、左肩に激突し負傷した。	19	5	30209	30～ 49
55	2017	8	12～ 13	荷受場で商品の入ったオリコンを移動したときに、壁面に立てて置いたバックルーム用ラックの棚板が倒れてきて、左腕と左胸にぶつかった。その時に倒れてきた棚板を支えようとした際、腰と左腕を痛めた。	48	5	80209	30～ 49



56	2017	7	9~10	自社栽培地の畑にて、里芋の消毒作業が終わり、ホースを巻いて回収していた。畑の隅の列にあまった種芋を植えてあり、踏まないように注意喚起のために立ててあった農業資材の棒にホースが引っかかった。ホースを取ろうとしゃがもうとした時に、棒が目当たった。	19	3	60101	1~9
57	2017	7	9~10	荷物を積み込み出発し、翌日朝荷降ろし作業の後、トラックの荷台の片付けをしている時に、緩衝材に使うベニヤ板が倒れ左足ふくらはぎ・甲に当たり負傷した。（会社へ帰る道中腫れてきた）	23	5	40301	10~ 29
58	2017	7	10~11	柱の積んであるところからチップにする柱（約15cm角×3m）を取ろうとした所真中あたりの木が崩れて右くるぶしの上に落ちて損傷した。	60	5	10409	1~9
59	2017	7	11~12	梱包作業中にラベルを事務所へ取りに行く際、近道しようと通路ではない場所を通り通路との境目のある柵を跨ごうとして柵に右足が引っ掛かり転倒した。転倒の際、床に右肩部及び右腰部を強打し大腿骨骨折、股関節骨折と診断される。災害当日は、会社から診察を勧められるが、様子を見て診察しようと当日は早退し帰宅。翌日痛みが引かなかった。	26	6	40301	30~ 49
60	2017	7	16~17	住職発注による墓地改良工事にともなうスロープ工事において、墓地内の坂道（傾斜角度20°）で型枠組立作業中、木枠（コンパネ、1.8m×90cm、重量5kg）5~6枚程度を自動車からおろして運搬中（距離5~6m）に体が横むきの状態でもち上げる際に腰に負担がかかり腰を負傷した。	64	19	30109	1~9
61	2017	7	10~11	被災労働者が荷降ろし先である、新築現場に於いて運搬してきたプレカット材を降ろし終えたところ、位置を数十cmずらして欲しいとの要請があり、5段重ねしたプレカット材（重さ約1.5t）に平ロープを掛けクレーンにより約20cm上げたところで、台木（6cm角）を動かすために手を入れた瞬間、平	63	7	40301	1~9

				ロープを掛けていたほぞ（雄部）が折れ、プレカット材と台木の上に左手拇指爪部が挟まれて受傷したもの。（被災労働者は軍手を着用していた）				
62	2017	7	9~10	配達先にて配達物の木材（30~40kg程度）を荷受人と一緒に持って運んでいた所、荷受人が木材を落とし、その反動で本人も木材を落下させ、左足親指付け根にあたる。（安全靴は着用していた。）	32	4	40301	10~29
63	2017	6	14~15	製材所工場内で木材の選別及び結束の作業中、作業台の製品を押し上げようと踏ん張った際に、右足脛に激痛がはしった。	46	19	10401	10~29
64	2017	6	16~17	店舗にて、足場の上で作業をしていた元請会社作業員が、誤って木柱（6cm角×2.5mの木材）を直下に垂直に地面に落とし、その木材が、ダンプに廃材を積み込作業中の下請会社の労働者側に倒れ、ヘルメットと右手の甲に当たり負傷した。	54	6	30201	50~99
65	2017	6	9~10	新築工事現場において、動線上に天板が放置されていたため、災害・事故防止のため即時に社員と2名で天板を移動しようとしている際、腰を捻りヘルニアを発症した。	63	19	170101	1000~9999
66	2017	6	9~10	配達先にて、荷降後の荷台の片付け作業中、コンパネを留めてあったラッシングベルトの捻じれを直そうとベルトを外した際、立て掛けてあったコンパネ20枚が倒れ、左足が挟まり負傷した。	43	5	40301	30~49
67	2017	6	10~11	工場構内でコンクリート二次製品2個を荷卸中、1個目を卸し、2個目を卸している中、荷台にあった台木（3寸角）の上ののってバランスを崩し、地上に落下し、1個目のブロック角に強打し負傷した。	53	1	40301	1~9
68	2017	6	19~	休憩時間に屋外へ出ようと工場内を歩行中、前方に製品を置くための板を発見し、そのまま踏み越えようと足を乗せたと	39	2	170101	10~

			20	ころで板が滑り、転倒して右膝を強打した。					29
69	2017	6	10～ 11	解体木材をダンプ車から降ろす時、後部補助板を外し、移動しようとした時、木材が滑り落ちて胸部を打撲した。	61	4	30209		1～9
70	2017	6	14～ 15	当社木材集積場にて手で木の皮の整理をしていた際、木の皮のとげが右手薬指に刺さり、当初は異常が無かったが、日ごとに指が腫れて痛みを伴ってきた。	74	90	40301		10～ 29
71	2017	5	17～ 18	倉庫内において、フォークリフトに乗って積み込み作業をしていたとき、リフトから降りる際に厘木（短い木の棒）の上に足を着いたため、左足首を捻り骨折した。	49	19	10401		30～ 49
72	2017	5	11～ 12	調整池間知ブロック裏込めコンクリートの型枠（鋼製）の脱型中、無理な姿勢で型枠を引き上げた時に腰の筋を伸ばした。	21	19	30109		10～ 29
73	2017	5	8～9	工場内に立て掛けてあった数枚の板の中から1枚を抜き取るために手前の板を2人で持っていた。1人が中の板を抜くために離れたところ、持っていた手前の板が、本人の認識以上に重かったため、支えきれずに足の上に倒れてきた。	17	6	10501		10～ 29
74	2017	5	20～ 21	店内エアコンコーナーにて、お客様にエアコンを説明中に、突然、空気清浄器案内ディスプレイモニター什器の側面木枠が弾ける様に外れ、重量約8～10kg位の側面木枠が背後より倒れてきた。倒れてきた木枠が背中に当たり、重みと衝撃で身体が倒れそうになった。	52	6	170101		100 ～ 299
75	2017	5	13～ 14	会社の西倉庫（木材保管場所）より、建前用木材を準備中に、高さ3mの所から木材（長さ4m×厚さ3cm×幅22cmの杉板4枚）と共に落下した。木材を取り出す時に木材が揺れたので、とっさに止めようとして落下し、下にあった木材に右脇腹を強打して腰部挫傷、右肋骨部骨折を負ったものである。	69	1	10401		1～9
			11～	建設現場でデッキ台を運んでいる時、物が重く長さもあった					

76	2017	5	12	ため、右手首を痛めてしまった。	41	19	40301	1～9
77	2017	5	15～ 16	会社倉庫にて、セミトレーラー台車上で次の積載荷物の段取り作業中に、台木1本を持ち上げて移動していたところ、他の台木に躓きバランスを崩し右足安全靴前方に台木を落下させてしまい、足の指を骨折した。	32	4	40301	10～ 29
78	2017	5	14～ 15	会社の向い側にある作業場において、伐採された寸法80cm程度の木をコンテナ車に積み込み作業中に、木材を転がして移動させていた時、木材と木材の間に右手中指の先端が挟まれて右手中指の先端部分を骨折した。	37	7	150109	10～ 29
79	2017	4	14～ 15	匠工房にて、工房内の片付け作業を行っていた。片づけながら工房内を移動していた際、作業台（H800mm）に置いていた製作物に腰をぶつけてバランスを崩し、左に転倒して腰を打ち骨折した。	73	2	10503	1～9
80	2017	4	3～4	当支店構内において仕分け作業をしている際に、トラックの荷台とホームを繋いでいる鉄板の高さを調整する為に、鉄板の下に敷いた木材につまずいて転倒し、左膝蓋骨を骨折する。	60	2	170101	30～ 49
81	2017	4	10～ 11	1階の冷蔵倉庫内で、単独で高さ2m程の荷物の上にあるパレット（約25kg、1.1㎡）を軍手をはめた両手で降ろそうとしたところ、誤って左足の親指に落としてしまった。	50	4	80109	30～ 49
82	2017	4	9～ 10	トラックから降りるときに地面にマツボ（角材）が置いてあることを確認しながらまたごうとしたが、マツボ（角材）に触れてバランスを崩して後向きにひっくりかえって倒れた。	64	3	80401	10～ 29
83	2017	4	14～ 15	新築工事において、小屋梁りに置いてある垂木45×45×200mm（重さ2.5kg）を2本両手で持ち、引き出そうとした際、右人差し指を挟み負傷した。様子を見たが腫れがひどくなり、痛みが取れなかった。	63	7	30202	1～9

84	2017	4	6~7	作業敷地内にある作業小屋において、工事現場に向かう作業員のため早朝に出社し、1人で小屋の暖をとろうと薪ストーブに火をおこそうとしたところ火が燃え広がり、燃え広がった際や消火活動時に下半身（大腿部や臀部など）に火傷を負った。	70	16	30199	10~ 29
85	2017	4	21~ 22	トラックの荷台で積み荷を固定しようと木箱（257×102×25cm）を飛び越えようとした際、木箱に足をひっかけ転倒し、右足首外側くるぶし下を剥離骨折をした。	49	2	40301	10~ 29
86	2017	4	11~ 12	本社工場にてカラ松の製材作業中、角挽きツインソー（1号機）の作業者が、送台車のレールにヤニが付いて動きが鈍くなったので油をさしていた時、テーブルツインソー（2号機）の作業者が製品置場に材が溜まっていたので材を戻したところ、油をさしていた作業者の右ふくらはぎ部分が戻した材と製材品送りのアングルに挟まれ負傷した。尚、1号機の作業者と2号機の作業者の間に機械があり死角になっており、お互いの姿が見えない状況になっていた。 ※製材の流れ：角挽きツインソー（1号機）→テーブルツインソー（2号機）	35	7	10401	1~9
87	2017	3	11~12	事業所作業内において、チップの搬入口に大きい端材が引っ掛かっていたので機械のスイッチを切った後、止まったことを確認し、引っ掛かっている端材を取ろうとした際に端材と鉄板の角に指を挟み、右手第2指を負傷した。	64	7	10401	10~ 29
88	2017	3	9~10	3ヤード内に於いて、荷造りに使用する材木の束をトレーラー据付の工具箱から取り出し、荷台上に上げる作業中、そのうち数本が束から抜け落ち、左足小指を直撃した。安全靴を使用していたが、つま先の鋼板部分から外れた位置にある小指に当たり骨折した。	54	6	40301	10~ 29
				鋼材（パイプ）を積込するために荷台の上に乗る、事前準備作業（りん木を敷く作業）をしている最中に、自分が前に敷				30~

89	2017	3	14~15	いたりん木（100cm×100cm）を踏んでしまい、左足首を捻り負傷した。	47	19	40309	49
90	2017	3	14~15	単板置場で単板の検品作業中、60cm程の高さに積まれた単板をリングの上に置こうとした時、手が滑って足の上に落とした。安全靴を履いていなかった為、足の甲を骨折した。	67	4	10402	10~ 29
91	2017	3	15~16	材木を降ろす際はガッチャをゆるめワイヤをはずすのだが、材木の太さ長さの違いもあり、すでに落ちそうになっていた4mの材木が荷台から落下した。	60	4	40301	10~ 29
92	2017	3	10~11	角材を動かし選別していたとき、角材の間に浅木がかっているのをノコギリで切っていたところ、角材が左足首に倒れかかり動けなくなった。	59	5	10401	10~ 29
93	2017	3	17~18	倉庫において、海上コンテナへの荷出貨物の積み込み作業を行っていた際、貨物を固定する為の角材（60cm×10cm）がパレット上（床面から約80cm）から落下し、作業者の左足に当たり負傷した。	40	4	50201	1~9
94	2017	3	14~15	解体現場内で搬出する木材を重機でコンテナに集積していたところ、木材が重機のアタッチメントに挟まり、取ろうとして重機アタッチメントを上に入れて、その下に入り、人力で外そうとした勢いで、コンテナの秤と木材の間に親指が挟まり骨折と裂傷を負った。	51	4	30201	1~9
95	2017	3	14~15	新築工事で木工事加工中、手かんなで柱を削っているとき、誤って手のひらにトゲがささった。	69	8	30202	1~9
96	2017	3	16~17	資材置場にて1人で作業中に、物置上の資材を取るためにバタ角（120mm×120mm）の上に乗って作業をしていたが、バランスを崩してしまい、そのまま倒れて左足首を捻り負傷した。	22	2	30201	30~ 49
				店内トレーニングコーナーにてレイアウト変更作業中、不要				

97	2017	3	17~18	な木製棚板を6枚まとめて持ち上げた際、腰部に痛みを感じ一時作業を中断した。一旦痛みが和らいだため勤務を続行し帰宅したが、腰の激痛で身動きが取れなくなり救急搬送された。	21	19	80209	50~ 99
98	2017	2	11~12	自社倉庫にて、型枠を製作中、倉庫にある型枠を使う為バーンで解体中、板がめくれると同時に異物のはじかれて目に刺さり左目を負傷した。	43	4	30209	1~9
99	2017	2	10~11	材料のパーティクルボード（約15kg）を台車に移し替えを行っていた。両手で材料の間に手を離し忘れ材料の間に手を挟んだ。右手中指の先端を骨折した。	54	7	10409	50~ 99
100	2017	2	8~9	芯材組立工程の木芯材投入口で、芯材を入替作業時、通常フォークリフトが待機してから芯材を動かすが、フォークリフトが待機場所に入る前に芯材を動かし、投入台から落ちそうになった為、手で押さえようとしたところ、芯材が崩れそうになり、体を避けたが、逃げ切れず、右足の上に芯材が崩れ骨折してしまった。	38	5	10409	50~ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。